

学校だより

# ～豊かな体験を～

# かわらなでしこ

発行  
仲里幼・小学校  
平成29年  
4月28日  
第3号

## 見て触れて試して ゴールデンウィーク

ゴールデンウィークを間近に控え、気持ちの良い天気のもと、子供たちは、校庭を元気いっぱい動き、楽しく活動しています。新年度がスタートとして約一ヶ月、日々子供たちの活動の幅は広がり、これまで以上に学校全体が活気に満ちているように感じます。

梅雨入り前のゴールデンウィーク、新年度の慌ただしさからほっと一息つきたいところだと思いますが、幼小期における体験活動は身体的精神的な発達に欠かせないこととして重要性は良く言われています。期間中、各家庭におかれましては、久米島の自然や文化等に触れる機会として、また親戚や友人との交流、旅行など、いろいろと計画されていることだと思えます。五感を通して実際に見たり、触れたり、また、全身で試したりすることは、大きな感動とともに記憶や感覚として身に付けられます。興味・関心が旺盛で成長のスピードが速い子供たち、この時期に多くの事を体験することが、子ども達の健やかな成長にはとても大切なことです。この事については、皆さんご理解いただいていることだと思います。各家庭においては、どのような体験活動を行うかについて、話し合ってみてはいかがでしょうか。

ゴールデンウィークを楽しみ、有意義に過ごすためにも、学校から安全な過ごし方等について確認事項を配布いたしますので、お子様と内容を確認くださいますようお願いいたします。



春の遠足にて

## あいさつ上手

本校では、今年度の取組の重点として「あいさつ上手な小っ子」を掲げ、日常的な取組を行っています。月曜日は、民生委員の皆様に登校時の安全確保やあいさつ運動への御指導をいただき活動の充実を図っているところです。笑顔で元気なあいさつができる幼児・児童が多く、気持ち良い一日の始まりを元気いっぴいの「おはようございます。」から迎えることができます。誰もが自然にあいさつを交わすことができるよう継続的に実施して参ります。

各家庭におかれましても、あいさつの意義などについて話題にしていただき、習慣化が図れますよう御協力をお願いいたします。

## 真剣なまなざし

## 交通安全教室

久米島町交通安全推進協議会、町教育委員会主催の交通安全教室が十三日に行われました。幼稚園児。一年生を対象に、謝名堂交番向かいにある信号機を利用して横断の仕方を学習しました。儀間交番・謝名堂交番の警察官の指導のもと、どの子も真剣な眼差しで話を聞き、実地体験をしました。安全教室では、信号機について、車専用のもや歩行者専用のも、押しボタン式などいろいろな種類の信号機があることや、その役割について、子ども達へ問いかけながら分かりやすくお話をしてくださいました。

特に注意することとして、

- 一、道路に急に飛び出さないこと。
- 二、左右をよく見て渡ること。
- 三、おしゃべりしないで渡ること。
- 四、信号を待つときは、一歩下がること。
- 五、腕は、真つ直ぐあげること。

などの点について確認し、実践をとおして学習することができました。子ども達も信号機をしっかり見て、約束を守り、安全に渡ることができました。

本校では、引き続き個々の安全意識の高揚や地域の交通安全についての呼びかけを行って参ります。各家庭におかれましても、安全確認の仕方や正しい自転車の乗り方、道路の渡り方等々、について御確認くださいませようお願いします。